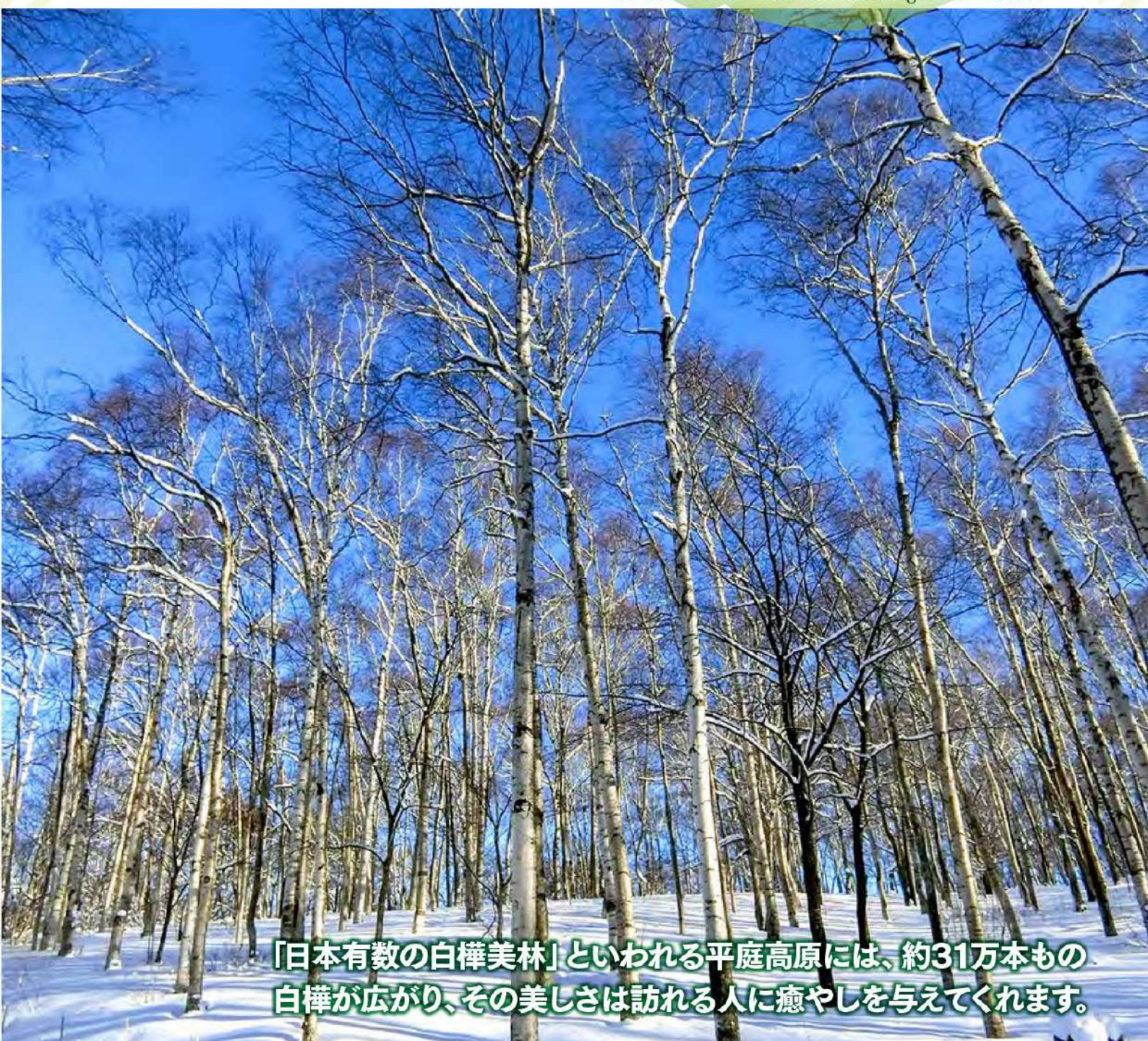


CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
特集コーナー	7
使える! 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	

みどりの
Midori no Tohoku
東北
No.228
令和5年 2023.3
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office



「日本有数の白樺美林」といわれる平庭高原には、約31万本もの白樺が広がり、その美しさは訪れる人に癒やしを与えてくれます。

地元小学校児童との林業体験学習

津軽白神森林生態系保全センター

当センターは、津軽森林管理署との共催により、9月に鱒ヶ沢町と深浦町の小学校児童を対象に、自然体験（植物の名前当てゲーム）と、除伐体験または丸太切り体験といった林業体験を実施しました。

除伐体験では、初めてノコギリを持つ児童が多く、最初は恐る恐るノコギリを触っていましたが、慣れるに従い一所懸命に木と格闘する姿が頼もしかったです。

丸太切り体験では、夢中で丸太を切っている児童を周囲の児童が応援し、それはやがて大合唱（ほんとうに歌うのです）に。楽しい雰囲気の中、体験は進んでいきました。

植物の名前当てゲームは、班ごとに実施。自然とそれは競争となり、真剣な眼差しで道ばたの植物とにらめっこ。課題の植物を全部見つけたときはメンバー全員で歓声（ついでに私たちも一緒に歓声）をあげていました。



児童たちが植物探しをしている様子

今年度から林業体験を実施した小学校が2校から5校に増え、準備時間と体力を要しましたが、児童たちの笑顔にも励まされ、充実した時間を過ごすことができました。当センターでは、これからもより良い体験学習を児童たちに提供していきます。

レクリエーションの森を次世代へ

盛岡森林管理署

当署管内の雫石町は十和田八幡平国立公園の南端に位置し、町内にはレクリエーションの森（野外スポーツ地域）※に指定された国有林があります。盛岡市からも車で1時間程度というアクセスの良さに加え、3箇所のスキー場や温泉施設、オートキャンプ場なども整備されており、四季を通じて自然を満喫することができ、地域の方はもちろん、県内外からの観光客の憩いの場ともなっています。

しかし、近年、同公園内の岩手山地区において特定外来生物に指定されているオオハンゴンソウが確認されています。オオハンゴンソウは、旺盛な繁殖力により在来植物の生育や生育環境を奪い生態系への悪影響を及ぼす可能性がある生物です。そのため、当署の森林ボランティアの方々にも協力をいただき、環境省、地元雫石町、その他関係機関と連携しながら防除活動を行っています。



オオハンゴンソウの防除作業（写真提供元：環境省盛岡管理官事務所）

当該地区の在来植生の保存対策としてオオハンゴンソウの生育拡大を防いで生態系を守り、そして、皆さんの憩いの場となるレクリエーションの森を次世代へとつなげていきます。

※豊かな自然環境を積極的に活用するため、国有林野の中から美しい森林や山、渓谷、湖など自然の美しさを楽しむことができる景勝地や野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」として林野庁が設定している。

高山植物盗採防止合同一斉パトロール

秋田森林管理署湯沢支署

栗駒国定公園に指定されている焼石岳の秋田県及び岩手県の登山道ルートにて、高山植物の生育状況と盗採状況を確認し、その情報交換と防止策の検討を行うため、『高山植物盗採防止合同一斉パトロール』が開催されました。

悪天候やコロナウイルスの影響等により3年ぶりの開催となり、秋田県班と岩手県班に分かれて実施し、秋田県班においては県自然保護課、東成瀬村企画課関係者、当支署と総員9名でのパトロールを行いました。



パトロールの様子

秋田・東成瀬コースは7合目付近から高山植物が多く顔をのぞかせ始める登山ルートです。焼石岳の8合目周辺には焼石沼があり、古くは、赤べこの放牧地でもありました。このコースをパトロールしながら4時間かけて頂上に到着し、岩手県班と合流、情報共有を行いました。

今回、秋田・東成瀬コースにおいて盗採の形跡等は見受けられませんでした。日頃の巡視員のパトロールと、地元自治体である東成瀬村の方々による毎年の登山道整備（刈払い）により登山道が適切に維持・管理されているおかげです。

今後とも、各機関が円滑に連携し一丸となって地域の自然を守っていきます。

植樹をととして「風の松原」を保全しよう！

米代西部森林管理署

能代市の能代第一中学校では、1年生が総合学習の中で地域住民を飛砂から守り続けている「風の松原」について学んでいます。

当署では中学校からの依頼により植樹のフィールドを提供しており、今年度は生徒48名がクロマツの植樹を10月6日に実施しました。はじめに「風の松原の役割と松くい虫被害対策」の学習からスタート。当署職員が先人達の育てた緑の遺産を松くい虫被害から守るための取組を説明し、その後、松くい虫被害により空き地となっている場所へ移動。そこで植付け用の穴を掘るディプルを使って植付け作業にはいりました。

生徒達は、はじめのうちディプルの使い方に苦労していましたが、慣れるにつれて手際よく植付けできるようになり、全体で100本の苗木を植樹しました。



みんなで協力して植え付け

閉会式では、生徒の代表から「今日の植樹をととして風の松原を守ろうとする気持ちが高まりました。植えたマツが丈夫で大きく育ってほしいです」と感想が述べられました。

当署は森林・林業等に関心をもってもらうため、これからも地域、学校などの要請に応じていきます。

地域住民の安全・安心を守る治山工事

三陸中部森林管理署

令和3年1月27日に陸前高田市矢作町の国有林から民家の駐車場に落石が発生しました。幸いにも民家等に被害はありませんでしたが、今後も落石が発生する恐れがあることから落石防止のため土のうを設置する応急工事を実施しました。その後、落石発生箇所には落石予防のロープを張り巡らせ、民地と国有林の境界に落石防護柵2基設置する治山工事を実施しました。

工事箇所は急傾斜地で、落石防護柵設置敷地内の立木伐採に加え、民家に被害を与えそうな立木は、特殊伐採で処理しました。

この現場の特殊伐採では、クレーン等の重機が使用出来ないため、全て人力による作業となり、ロープを使用して伐採木に登り、上部から伐採し、伐採した木をロープで地上まで降ろすという作業を行ったため、時間がかかりましたが、工事は無事に完成することができました。



急傾斜地での特殊伐採の様子

本工事を施工したことにより地域住民の不安を解消することができ、住民からも感謝の声をいただきました。

今後とも、治山事業を実施し地域住民の安全・安心を守るため取り組んでいきます。

一貫作業システムの普及に向けた取組

置賜森林管理署

木を伐採しその跡地に木を植え育てるには、多額のコストがかかるため、伐採後にそのままとなっている山林が多く見受けられます。そこで当署では、伐採に使用した林業機械で地拵えなどの造林作業を行い、作業コストの縮減や省力化を可能とする「伐採と造林の一貫作業システム」の導入を推進しています。

この導入の推進のため、管内の伐採や造林作業を行う林業事業者等から、一貫作業システム導入に関する意見や課題をお聞きする現地検討会を開催しています。また、地方自治体の林務担当職員や当署若手職員も参加することにより、人材育成の場にもなっています。

検討会では、まず局管内における一貫作業システムの普及状況や取組事例について説明した後、実行に当たって留意すべき点等について意見交換を行いました。

また、造林・保育作業の省力化を図ることを目的として、今までより大きいコンテナ苗の植栽に



スギコンテナ大苗（左）植栽の様子

も取り組んでいることから、参加者に実際にスギコンテナ大苗を植栽してもらったところ、「今までの苗より植えやすい」、「現在使用されているディプルでは作業が大変」等の感想をいただきました。

引き続き、こうした取組を積み重ねながら、一貫作業システムの普及・定着を図っていきます。

青森の太平洋側における病虫被害の対応

三八上北森林管理署

当署管内の国有林において、これまでに松くい虫、ナラ枯れ等病虫害の発生確認はされていませんが、平成30年秋に南部町の民有林内において松くい虫被害が確認されました。以来、最寄りの官行造林地※を重点調査地として、早期発見、早期駆除を念頭に、春と秋の2回ドローン等による被害確認調査を実施しています。

重点調査地である官行造林地は、霊峰として知られる名久井岳の北側に位置した名久井岳県立自然公園内に所在し、麓には寺院や観光農園が点在する県有数の観光地となっており、官行造林地に隣接する登山道等には、県内外からの利用者も多く見られます。



ドローンで撮影した官行造林地



ドローンによる被害調査

被害確認調査においては、被害が疑われる変色した異常木は万が一に備え、伐倒くん蒸処理を行ってきました。

アカマツ異常木の早期処理は、松くい虫被害拡大の未然防止の観点だけではなく、名久井岳の景観維持や来訪者の安全面への配慮に繋がっており、今後も関係機関と情報共有しながら、監視を継続していきます。

※民有地に国が植林し管理する造林地

木材利用の推進～広葉樹～

山形森林管理署最上支署

造林（植林）されたスギなどの人工林では、樹木の生育を促すことと、林内環境を豊かにして土砂災害に強い森林を作ることを目的に、定期的な間伐（間引き）作業を行っています。その際、少量ではありますが広葉樹を間伐することもあり、搬出された広葉樹丸太のほとんどが紙などの原料に主に利用されてきました。

現在広葉樹は、国際情勢や国内での伐採減少などにより大変貴重な木材となっております。このようなことから、これまで目を向けられなかった細めの広葉樹などを製材用として市場に供給することを目的に、地域の自治体や林業事業者と現地検討会を開催しました。

検討会では、サンプルとなる広葉樹を数本用意し、市場関係者からの指導の下、曲がりや節などを考慮した採材等について、意見交換をしながら建築材料や家具用に使用できる丸太の生産について情報を共有しながら検討しました。その結果、昨年度の倍以上の製材用広葉樹を供給し全て売ることができました。



検討会の様子

当支署では、今後もこのような検討会を開催し、木材利用の推進を目指すとともに、需要動向を見定めた採材等、更なる技術の向上に努め、地域産業の活性化に貢献していきたいと考えています。

国有林野所在市町村の魅力紹介

岩手県下閉伊郡岩泉町

三陸北部森林管理署

岩泉町は、岩手県中央部から東部に位置し、西端の早坂高原から東端のおもと小本海岸まで東西51kmにおよび、面積は992km²と本州一広い町です。岩泉町の中心部にある「宇霊羅山」は、アイヌ語で「霧がかかる峰」が語源と言われ、町のシンボルとして愛されています。



宇霊羅山

町を代表する観光スポット「龍泉洞」は、国の天然記念物で日本三大鍾乳洞のひとつとして有名です。世界有数の透明度を誇る地底湖が絶景で、深く透明な輝きから「ドラゴンブルー」と呼ばれ、

その水は「龍泉洞の水」として広く販売されています。また、龍泉洞園地内に流れる清水川で春から秋にかけて開催される溪流釣りまつりやツリークライミング体験など、親子連れで大変賑わいます。



龍泉洞地底湖山

町の東端にある小本地区の展望台からは、景勝

地「熊の鼻」が望め風光明媚な景色が楽しめます。近くにあるもしかいがん茂師海岸は、日本初の恐竜化石「モシリユウ」の発見された地であり、化石産地や貴重な地層を観察できるため、三陸ジオパークのサイトに登録され、ガイドによるツアーも行っています。また、みちのく潮風トレイルのルートも通っており、アクティビティにもおすすめの地域です。



景勝地「熊の鼻」

広大な自然を有する岩泉町は食材にも恵まれ、中でも「岩泉ヨーグルト」は全国的に有名です。添加物を一切使わず、もちもち食感が特徴で、道の駅や首都圏のスーパーでも販売されています。ほかにも、低脂肪の赤身肉が特徴の「いわいずみ短角牛」や、昔、炭鉱夫から愛されたご当地グルメ「炭鉱ホルモン鍋」、森の王様「松茸」や練わさびの原料として日本一の生産量を誇る「畑わさび」など、紹介しきれない魅力であふれています。



岩泉ヨーグルト

お問合せ先：岩泉町経済観光交流課 Tel：0194-22-2111

国有林野所在市町村の魅力紹介

宮城県大崎市

宮城北部森林管理署

大崎市は宮城県の北西部に位置し、東は遠田郡、登米市、西は山形県、秋田県に接し、南は黒川郡、加美郡、北は栗原市に接しています。大崎市は東西に約80キロメートルの長さで、奥羽山脈から江合川と鳴瀬川の豊かな流れによって形成された、広大で肥沃な平野「大崎耕土」を有する四季折々の食材と天然資源、そして地域文化の宝庫です。

◎東北の湯治場として名高い鳴子温泉郷には、中山平温泉、鳴子温泉、東鳴子温泉、川渡温泉、鬼首温泉の五つの特色ある温泉地があります。日本国内にある10種の泉質のうち7種が存在し、源泉数は370本以上、泉質・湯量ともに豊富な温泉郷で、効能や泉質には定評があります。



広大な自然が魅力の鳴子温泉郷

◎鳴子峡は、例年10月中旬から11月上旬にか



紅葉に染まる鳴子峡

けて、大谷川が刻んだ深さ100メートルに及ぶ大渓谷が赤や黄色の美しい紅葉に染まります。鳴子峡レストハウスの見晴台からの眺めは、まさに絶景です。

◎「あ・ら・伊達な道の駅」は宮城県と山形県を結ぶ国道47号線沿いの大崎市北西部にあり、施設の充実度は東北屈指です。岩出山周辺の特産品のほか、おみやげの品数が1,000点を超える圧倒的な豊富さで2001年の開館以来、満足度の高い道の駅として人気を集めています。



多くの人で賑わう「あ・ら・伊達な道の駅」

◎延宝5年（1677年）に岩出山伊達家の下屋敷として建てられた、「旧有備館および庭園」は、家臣の子弟を教育する学問所としても使用された建物と岩出山城の断崖を借景とし、池中に島を配した廻遊式池泉庭園です。園内を彩る花々や紅葉、樹齢300年になる古木も見事です。



国の史跡及び名勝「旧有備館および庭園」

お問合せ先：大崎市観光交流課 Tel.0229-23-7097

令和4年度森林・林業技術 交流発表会の開催(その1)

技術普及課

1月31日～2月1日の2日間、東北森林管理局大会議室を会場に、「令和4年度森林・林業技術交流発表会」を開催しました。

この発表会は、森林・林業・木材産業の活性化等を推進するための諸課題に対する様々な取組について、関係者が情報提供や意見交換等を行い、技術の普及・向上及び交流を図ることを目的として、毎年開催しています。

令和2年度と3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、オンライン配信による開催となりましたが、今年度は聴講者の人数を制限し、3年度ぶりに対面にて開催することができました。

2日間を通して「一般の部」の「森林技術部門」15課題、「森林ふれあい・地域連携部門」11課題、「森林保全部門」12課題、「中学・高等学校の部」1課題、計39課題の発表があり、活気あふれる発表会となりました。

ここでは、各部門別の講評を交えつつ、主な受賞課題の概要を中心に、2回に分けて特集します。

【森林技術部門】～最優秀賞～

『各署でできる！林道事業におけるICTの実践～動画から生成した三次元点群の利用～』

岩手南部森林管理署

吉川さん、森さん、高橋さん

ドローンを活用し、動画から生成した三次元点群を用いて、図面作成、工事出来形管理、林道施設点検への活用を図るという取組であり、従来方法と比べ大幅な時間短縮と安全性向上など、審査員から、将来性のある取組であると高い評価を得ました。



森林技術部門最優秀賞
左から吉川さん、森さん

【森林ふれあい・地域連携部門】～最優秀賞～
『官公造林地を含む森林整備推進協定締結への取組～新郷村の例～』

三八上北森林管理署 千葉さん

伐期を迎えた私有林と隣接の国有林において、効率的な森林整備が進められるよう、双方に接続する林道の計画や出材した丸太のストックヤード共有の提案など協定締結までの取組が発表されたもので、計画規模が大きく、民国連携が非常に良好であり、協定締結の効果が大きいと高い評価を得ました。



森林ふれあい・地域連携部門
最優秀賞 千葉さん

【森林保全部門】～最優秀賞～

『大量集積型おとり丸太法の実施～民国連携によるナラ枯れ対策～』

津軽森林管理署 福島さん、郡司さん
企画調整課 内田さん

「ナラ枯れ」の新たな被害対策手法として、青森県深浦町で発生している被害に対し、青森県と津軽森林管理署が連携して行ったカシノナガキクイムシを誘引捕獲して健全木への潜入を防止する大量集積型おとり丸太法の取組であり、おとり丸太設置環境の改善等による民国の「防衛ライン」を作るなど、審査員からは民国連携の好事例であると高い評価を得ました。

(次号へ続く)



森林保全部門最優秀賞
左から福島さん、郡司さん、内田さん

使える!


行政情報&研究・技術の参考情報

融雪出水期における 山地災害について

春の訪れとともに、日毎に気温が高くなり、日中の気温も高い日が続きます。そこで心配されるのが、山間部における融雪（雪解け）による、なだれ、地すべり、土砂崩れなどの山地災害の発生です。

なだれは、すべり面の位置によって「表層なだれ」と「全層なだれ」に分けられ、特にこの時期に多いのが「全層なだれ」です。「全層なだれ」は、春先や降雨後、フェーン現象などにより気温が上昇したときに発生しやすくなります。

東北森林管理局では、管内の国有林において、過去になだれが発生したか、又は発生するおそれのある箇所、かつ、人家・公共施設等に被害を与えたか、又は与えるおそれのある箇所をなだれ危険箇所としており、巡視・点検を行っています。特に災害発生のおそれの高い箇所については、天候や積雪量の状況等を的確に把握し、必要に応じて関係機関に情報提供するなど適切な対応に努めています。「なだれ危険箇所に関する情報」は、東北森林管理局ホームページに掲載されておりますので参考にしてください。

 なだれ危険箇所に関する情報
(東北森林管理局ホームページ)

また、なだれ以外にも、融雪（雪解け）に伴う出水により地すべり、土砂崩れなどの山地災害の発生も懸念されます。山地災害が発生した場合は、関係機関とも十分連携し、迅速に対応することとしています。



融雪出水に伴う土砂崩れが発生し、治山施設に被害

ご関心のある方は、東北森林管理局治山課
(TEL:018-836-2019)までお問合せ下さい。

多雪寒冷地における 大苗植栽の特性について

令和3年6月に改正された森林・林業基本計画では、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」を目指す取組を展開するとされています。

近年、下刈作業における低コスト化に資する取組として大苗が注目されており、当センターでは、多雪寒冷地における大苗植栽の特性を明らかにし、実用化に向けたデータの蓄積を目的とし、岩手県八幡平市（カラムツコンテナ大苗）と秋田県上小阿仁村（スギコンテナ大苗）に植栽試験地を設定しています。なお、各試験地には比較検証するためコンテナ通常苗も植栽しています。

秋田県上小阿仁村に植栽したスギコンテナ大苗の3成長期までの検証結果では、生存率は大苗、通常苗とも良好ですが、大苗は積雪による折れや枯れが多く発生する傾向が見られます。樹高成長については、大苗、通常苗とも同程度の成長量となっていますが、根元径の成長量は、大苗が高い傾向となっています。なお、植栽時の形状比※が90と高かった大苗は、2成長期目から急速に低下し60程度に収束する傾向となっています。



上小阿仁村のスギコンテナ大苗（植栽4年目）

本取組は平成28年度から令和5年度までの取組のため令和5年度が最終年ですが、成長量調査、植栽木の被圧度調査等については、定期的に調査を実施して大苗植栽の実用化に向けたデータを蓄積していきたいと考えています。

※樹高を直径で割った値。形状比が高い木は、風雪害に弱いと言われていた。

ご関心のある方は、森林技術・支援センター
(TEL:0173-57-9022)までお問合せ下さい。

地域のこの人

未来の林業を支える

青森林業土木協会

田中建設工業㈱ 桜田 裕成さん

当社は、青森県三八上北地方で土木工事業を中心に事業を行っており、東北森林管理局の森林管理署が発注する、林業専用道を作る工事にも携わっています。

私は入社3年目で、うち2年間は林業専用道を作る工事に携わりました。林業専用道とは、木を伐採する際に利用したり、伐採した木材を運搬したりするための道のことです。整備されていない山林に作る事が多く、工事は決して楽なものではありません。自然災害の影響も受けやすく、大雨や暴風、地震などが起こるたびに、翌日に現場の見回りを行い、異常があれば発注者と話し合って改善をし、林道の利用者が安全・安心に通行できる、より良い林業専用道となることを目指して尽力しています。

ほかにも工事の作業状況の写真撮影、機械を使っの構造物の位置や高さの測量など仕事内容は多岐にわたっています。まだ仕事に慣れない部分や間違ってしまうこともあります。工事終了後に、作った物が地域の方々の役に立っている姿を見ると達成感を感じます。

これからも林業と密接に関わる建設業の仕事を通じて、林業業界の発展に貢献していきたいです。また達成感あるこの仕事を一緒にする仲間が増えてくれたらうれしいです。



測量作業の様子

地域の水源を守る

青森森林管理署広瀬後潟森林事務所

土肥 菜由さん

当事務所は、津軽半島の東側、青森県青森市と東津軽郡蓬田村に位置する国有林を管轄しています。国有林の裾野には美しい田畑が広がり、また海が近く漁業も盛んです。海や田畑に流れる水流をたどっていくと、すべて国有林に繋がっています。日々の業務が地域の水源を守っていることを思い、とてもやりがいを感じています。

青森森林管理署では蓬田村と遊々の森協定※を結び、蓬田漁協が植樹した箇所の下刈りを村役場、漁協のみなさんと実施し、海の水源にもなる森林の役割へのご理解を深める取組をしています。また管内には、豊かな水量を誇る黒滝、下北半島から十二湖まで360度ぐるりと大パノラマが



黒滝と筆者

見渡せる袴腰岳、陸奥湾を間近に見晴らせる大倉岳、五所川原方面が見渡せる赤倉岳と隠れた名所があります。こうした名所を整備するのも重要な仕事です。

私は、大学で林学を専攻し、林業を通して地域振興に携わりたいと思い、林野庁に入庁しました。森林官の業務は地域密着の仕事です。普段から地域のみなさんとのコミュニケーションを大事にし、事業説明を丁寧に行い、国有林野事業へのご理解を得るように努めています。みなさんも、地域振興に携われる国有林の現場で働いてみませんか。

※森林環境教育の推進を目的とした森林教室、体験活動等へのフィールドを提供する協定

3月中旬～下旬

第87回蔵王スキー大会

3月11日(土)～3月12日(日)
大会種目はジャイアントスラロームとスラロームです
(山形県/蔵王スキー大会事務局)

UKIUKI浮世絵－江戸の賑わい－

～3月12日(日)
昭和30年代に制作された複製浮世絵を中心とした展示です
(宮城県/登米懐古館)

冬山登山体験

3月12日(日)
スノーシューを着用し、雪の鎌倉森を目指します
(岩手県/網張ビジターセンター)

第21回宮古毛ガニまつり

3月12日(日)
活毛ガニ、ゆで毛ガニ、瓶ドン・蒸しがき等の冬の味覚が大集合
(岩手県/宮古観光文化交流協会)

七ヶ宿スキー場「さよなら感謝デー」

3月12日(日)
七ヶ宿スキー場の今シーズン営業終了日、1日券がお得に
(宮城県/みやぎ蔵王えぼしリゾート)

奏でるWaza展

3月17日(金)～3月19日(日)
県内に住む先進気鋭の工芸作家の作品展示、実演もあります
(宮城県/道の駅「村田」物産交流センター)

第27回おおくら雪ものがたり

3月18日(土)
巨大雪だるま「おおくら君29世」がお目見え、夜は花火も彩ります
(山形県/おおくら雪ものがたり実行委員会)

春の久渡寺山登山

3月19日(日)
春のかた雪を踏んで久渡寺山の頂上まで(事前申込制)
(青森県/弘前市みどりの協会)

3月中旬～下旬

早春の七滝さんぽ

3月19日(日)
雪景色の中、静かになった森を七滝までゆっくりと歩きます
(岩手県/森林ふれあい学習館)

トレイルランナーズカップみちのく社の湖畔公園2023

3月19日(日)
遠く蔵王連峰を望みながら3歳から気軽に楽しめるレースイベント
(宮城県/みちのく公園管理センター)

合川万灯火(まとび)

3月21日(火・祝日)
川面に映えるたいまつ灯りは幻想的。先祖の霊を弔います
(秋田県/北秋田市生涯学習課)

三陸・大船渡 第26回つばきまつり

～3月21日(火・祝日)
600種700本の椿が楽しめる「世界の椿館・墓石」が会場のまつり
(岩手県/つばきまつり実行委員会)

冬の蔵王雪体験

～3月21日(火・祝日)
ガイドから雪の楽しみ方を学び、本格石窯焼きピザも楽しめます
(山形県/上山市観光物産協会)

上小阿仁村写真展～秋・冬編～

～3月30日(木)
上小阿仁村の秋・冬の風景を展示します
(秋田県/道の駅かみこあに)

森吉山 ピステンツアー

3月28日(火)～4月23日(日)
キャビン付圧雪車でゴンドラ山頂まで往復します
(秋田県/森吉山阿仁スキー場)

「十二国記」山田章博原画展

～4月9日(日)
山田章博氏の代表作「十二国記」の原画展です
(宮城県/石ノ森萬画館)

4月上旬～中旬

弁天神社例大祭「さがさんじ」

4月3日(月)
1年に1度、弁天島へ船で渡り、本殿に神楽奉納します
(青森県/大間町観光協会)

ジャジャシコ祭り

4月3日(月)
幕末に起きた大火を機に始まった火伏せ祭りです
(秋田県/大館市)

酒田日和山桜まつり

4月8日(土)～4月17日(月)
日本の都市公園百選・日和山公園は桜の名所としても知られています
(山形県/酒田市)

遠野ふるさと村 春風祭り

4月9日(日)
豊年満作、家内安全、無病息災、疫病退散を願って開催します
(岩手県/遠野ふるさと村)

福浦の歌舞伎(漁村歌舞伎)

4月10日(月)
漁師によって受け継がれてきた、全国的にも珍しい漁村歌舞伎です
(青森県/歌舞伎の館)

北上展勝地さくらまつり

4月15日(土)～4月30日(日)
みちのく三大桜の名所の桜と各種イベントを楽しめます
(岩手県/北上展勝地さくらまつり実行委員会)

水沢公園桜まつり

4月上旬から下旬
岩手県天然記念物に指定の樹齢約350年の古木ヒガン系の桜など
(岩手県/奥州市商工観光部商業観光課)

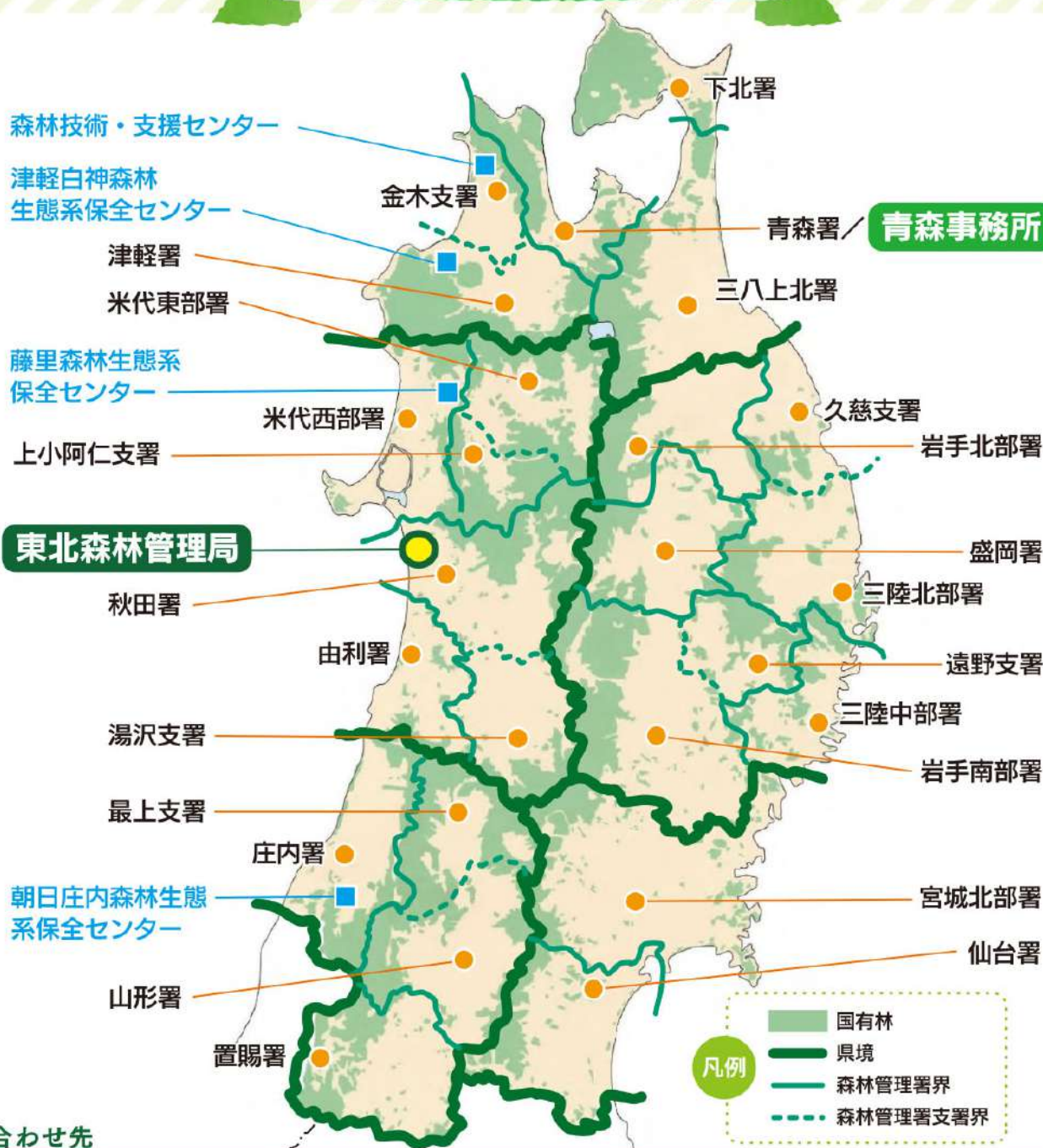
新緑の十二滝・経ヶ蔵ツアー

4月16日(日)
修験業者の山「経ヶ蔵」から名瀑「十二滝」までめぐるツアーです
(山形県/酒田市)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



問い合わせ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115		米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
岩手県	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311	
	津軽白神センター	西津軽郡鮎川町大字舞戸町字刺阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164	
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003	
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331	
宮城県	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161	
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122	
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246	
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730	
	遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670				

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.228 ●発行日/令和5年3月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。